

☆READ 2020☆第4弾

先生方によるおススメ本紹介企画



「葡萄が目にしみる」

林真理子/著・(株)KADOKAWA/発行

学生時代に読み、それ以降何度か読み返した小説です。高校時代の過剰な自意識とそれに翻弄される主人公とその周りの友人や異性との関係が、山梨の田舎の風景の美しさや、日常のかけがえのなさとともに描かれています。夏の匂いのする小説です。是非読んでみてください。



高校教務部長・理科 須栗潔

「もの食う人びと」

辺見庸/著・(株)共同通信社/発行

世界中の様々な国の人々の「食」についてのルポタージュです。旅行体験記としても楽しめますが、いろいろ考えるきっかけにもなる本だと思います。誰もが日常的に行っている行為である「食」が持つ、思ってもみなかった深みを味わってみませんか。



中学教務部長・数学 橋本望

「地図で読み解く初耳秘話 千葉のトリセツ」

旺文社編集部/編・(株)旺文社/発行

歴史の本?地理の本?地学の本?鉄道の本?分類不能だけど、世の中ってそんなもの。地図を基にした千葉県内のさまざまな話題が満載。成田に新幹線の遺構?利根川は江戸湾に流れ込む川?読めば増やせる千葉県の雑学的知識!

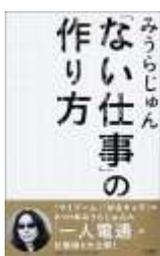


中学2学年アドバイザー・理科 金杉正明

「「ない仕事」の作り方」

みうらじゅん/著・(株)文藝春秋/発行

「本を薦める」行為は「この手の本を日ごろ好んで読んでいる人」と解釈される場合があります。その点で今回は私にとってマイナス、台無しです。他に同氏の『マイ仏教』、また『奥園壽子の赤本合格レシピ』をおすすめします。



中学2学年主任・英語 松本康伸

「書の道を行こう 夢をかなえる双雲哲学」

武田双雲/著・PHP研究所/発行

僕はこの人の書が大嫌いです。理由のないハネ、ユラギ...この人は何を考えてこういう破格の書を作るのか、敵を知るのも大切だと手に取りました。読んでみて、双雲は言葉を生み出すのが上手な人、なぜそうなったのか、今までの生き方が簡単に紹介されています。また、書道とは関係なく、若い人に向けたポジティブな言葉がたくさん書かれています。ちょっと疲れた、元気がほしい人に前向きな言葉が見つかるかも...と、感じました。皆さんはこの人の書、考え方をどう感じますか?



中学2学年A組担任・書道 田中直樹

「ライオンのおやつ」

小川糸/著・(株)新潮社/発行

「人生最後に食べたいおやつは何ですか?」と聞かれても、なかなか想像がつかないかもしれません。新型コロナウイルスの脅威によって、当たり前の日々の有難さと大切さを痛感している今だからこそ、胸にしみる一冊です。私も「チョココロネ」みたいな生き方をしよう!



中学2年A組副担任・国語 佐伯知波

「めんどくさがりやなきみのための文章教室」

はやみねかおる/著・(株)飛鳥新社/発行

めんどくさがりな人の方が文章の才能がある?! 読書感想文ってどうやって書くの?作家になりたいけどどうやって本を書けばいいの?そんなあなたに猫マ・ダナイが文章の書き方を教えてください。中学2年生の健と一緒に上手な文章が書けるようになろう!



中学2年B組担任・国語 丸山未菜

「ごみから地球を考える」

八太昭道/著・(株)岩波書店/発行(岩波ジュニア新書)

全ての生命体は生きていく限り、その体内に物質を取り入れ、そして不要物を輩出するというサイクルの中でのみ生存できる。しかしながら人間は、自分たちの都合でリサイクル性を全く無視した製品を作り続け、地球を破壊し続けています。それは地球の死を意味します。



中学2年B組副担任・理科 大川徹

「人は理では動かず情で動く」

向谷匡史/著・(株)ベストブック/発行

田中角栄は高度経済成長期に活躍した日本の政治家である。彼は若手官僚や知識人のアイデアを積極的に取り込み、「責任は自分が背負う」と言い切り、高度経済成長期の課題に「決断・実行・責任」を携え対峙していった。彼のリーダーシップとはどのようなものであったのか。その極意を紹介する書物となっている。



中学2年C組担任・地歴 稲垣雄一郎

「FACT FULNESS(ファクトフルネス)」

ハンス・ロスリング/著・日経BP社/発行

さて問題です。世界の平均寿命は何歳でしょう。①50歳 ②60歳 ③70歳。答えは70歳です。平均寿命がこんなにも高いなんて思わず、①や②が答えだと思い込んでいる人もいるのでは?思い込みではなく、データや事実に基づき、世界を正しくみる方法を教えてください。1冊です。



中学2年C組副担任・数学 滝浦秀平